

陳情第4号

国に対し、2030年エネルギー基本計画改定に関する意見書の提出を求める陳情書

(陳情の要旨)

私たち生活クラブ生活協同組合・千葉は、県内に約44,000世帯(流山市に約2,524世帯)の組合員が所属する消費生活協同組合です。1都1道2府17県で活動する33の単位生協で生活クラブ事業連合を組み、人間が人間らしく自然と共生して持続的に生きていくために「食料」「エネルギー」「ケア」の自給ネットワークづくりをすすめています。その中のエネルギー政策においては「エネルギー自治」「CO2削減」を基本とし、エネルギーを「減らす・つくる・つかう」活動と事業を進めています。

2016年から自然エネルギーを中心とした「生活クラブでんき」の供給を開始し、2019年度供給電力量7,930万kwh、低圧契約件数15,834件となりました。省エネを推進する活動も全国で広がっています。

温室効果ガスを大量に排出する石炭火力発電の温存政策は、持続可能な脱炭素社会に逆行するものです。2050年カーボンニュートラルの実現の鍵は、エネルギーの効率化と共に再生可能エネルギーの大幅な拡大をいち早く進める事です。

エネルギー政策の基本は地域です。市は国を動かしていく役割があると考え、以下により国に意見書を提出してください。

(項目)

- 1 国は、次期エネルギー基本計画で、2030年度の再生可能エネルギー電力目標を60%以上、2050年度は100%としてください。
- 2 国は、石炭火力発電は段階的に2050年までに廃止してください。
- 3 国は、脱炭素社会に向けて、再生可能エネルギーを強力に推進する政策への転換を確実に進めてください。

令和3年6月3日

陳情者



流山市議会議長 森 亮二 様